

2016 年度夏季海外研修（韓国語・韓国文化コース）研修レポート

社会福祉学部 Aさん

9月4日から9月24日までの三週間、韓国にある慶熙大学というところで韓国語を勉強してきました。行く前は、3週間は少し長いかなと思っていたのですが、今思えばちょうどよいか少し足りないくらいでした。3週間を振り返ってみたいと思います。

〈クラス分けテスト〉

初日にクラス分けするために筆記とスピーキングのテストをします。テストはマーク式であることを期待していたのですが、期待は外れ、4~5個ある項目の中から自分のレベルに合ったテーマを選んで自由に記述するというものでした。どんなテーマであるかさえも分からなかったため、自分が今分かる精一杯の韓国語でつたない文章を書くことになってしまいました。午後にはスピーキングのテストをしました。1人ずつ先生のところにおいて面接をするという形式でした。私は自分の名前、趣味、昨日何を食べた物、好きな食べ物、時間について聞かれました。聞かれていることはなんとか分かったのですが、うまく答えることができず、悔しかったです。クラス分けテストの後、あと3週間本当に韓国で生活していけるのか不安になりました。

〈授業〉

授業は12~13人ほどの少人数で行われます。私のクラスは日本人とシンガポール人のクラスでした。日本人は東京、新潟、静岡、長崎の学生でした。授業は午前9時から午後1時までの4時間です。最初の2時間はリスニングの授業で、後の2時間はスピーキングの授業という構成でした。授業初日は先生が言っていることが分からず隣の人に聞いたり、クラスメイトに合わせたりしていました。ですが、授業をこなしていくうちに先生の言っていることが分かるようになり、だんだん授業が楽しくなってきました。先生も学生が分かるような簡単な韓国語を使ってくださり、時には英語も交えて説明して下さったのでとても分かりやすかったです。

〈トウミ〉

慶熙大学には留学生に1人慶熙大学の学生がお世話係としてついてくれるチューター制度があります。トウミは当たり外れがあると聞いていたので会うまでは少しドキドキしていましたが、2歳年上の女性で、とても優しい方だったのでほっとしました。トウミは日本語が全く話せない方でしたが、理解しやすい韓国語を使ってくれたり、それでも分からない単語などは携帯の翻訳機能を使ってくれたりしたので楽しい時間を過ごすことができました。トウミはドラえもんが好きだったようで、その話で盛り上がりました。トウミと会って会話をすると韓国語で意思疎通ができるようになっていったので、それが嬉しかったです。

〈現地学習〉

1回目の現地学習では、韓国民族村や陶芸村に行きました。民族村では馬のショーなどを見に楽しみましたが、帰る間際に大雨になってそれが少し大変でした。ですがより一層記憶に残りました。陶芸村では、マグカップに絵付けをしたり、陶器を作ったりしました。出来上がりはイマイチで少し残念でしたが、日本ではあまり経験しないようなことをできたので楽しかったです。

2回目は国立博物館とナンタ観劇とNソウルタワーへ行きました。私が一番印象に残ってい

るのはナンタです。包丁などの調理器具や野菜などを使うショーなのですが、今まで見たことがないようなものだったのでとても新鮮でした。言葉でというより、動きで魅せるという感じだったので外国人も楽しめるショーでした。実際韓国人よりも観光で来た外国人が多かったように思います。韓国を訪れたらもう一度見てもいいなと思うくらい素敵なショーでした。

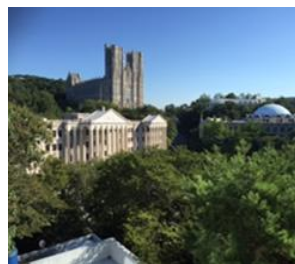
〈自由時間〉

平日は文化特講がない日は基本的に1時で授業が終わるので、明洞や東大門、北村韓屋村など様々なところに行きました。休日は、漢南やロッテワールドや昌徳宮、景福宮などに行きました。韓国は物価も安く、地下鉄の基本料金も安いので本当にいろいろなところに行き、いろいろなものを楽しんだり、味わったりすることができます。また、料理も1つ1つが大きいので、回基名物であるパジョンや韓国のかき氷であるパップンスなどはシェアし合って食べることがほとんどでした。韓国料理は辛すぎる料理があるということを除けば本当においしいものばかりでした。

日本に帰ってきて思うこととしては、やはり旅行とは違い自由な時間がたくさんあるのでもっと韓国にいなければできないことをすればよかったなということです。自由時間はもっとアクティブに行動し、いろいろなことを吸収するべきだったなと感じています。

〈まとめ〉

韓国での3週間は今まで生活してきた中で一番濃い3週間でした。ただ韓国に行ってみたくという気持ちだけで知り合いがいない状態で応募したので最初は不安しかありませんでした。ですが、3週間韓国で生活し、語学研修に参加した人たちとも仲良くなれたので本当によかったです。また、全国各地に友達が出来たのも自分にとっては大きな強みになりました。語学研修に行く前よりさらに韓国が好きになり、また、日本のこともさらに好きになりました。また、言語や文化の違うところに身をおくことも大切だなと感じました。不安を抱えながらもこの韓国研修に参加して本当によかったです。これからも韓国語の勉強を継続し、もっとレベルを上げてまた韓国に行くことができたらいいなと思っています。



研修先：韓国(ソウル市内) 慶熙大学

研修期間：9/4-9/24

【参加理由】

今回、3週間にわたる海外研修(韓国コース)に参加した大きな理由は、2ヶ月という長い夏季休暇をアルバイトやインターンシップだけで過ごしたくない、就職活動や卒業論文で忙しくなる前に有意義で、充実した長期休暇を満喫したいと考えたからである。中国コースと韓国コースの2コースの募集がされていた学内掲示板を見て、昨年度、2年次に韓国語を履修していたことと、韓流ドラマやK-POPなど身近で韓国文化に触れる機会が多く、興味を惹かれたため参加を決めた。

【韓国語の授業】

韓国に到着した次の日にはキョンヒ大学で韓国語の授業を受講する際のクラス分けテストが行われ、試験内容は筆記と面接だった。試験については本当に悲惨だった。筆記テストは問題文がいくつか提示されていて、その中から選択した1つの問いに対して作文用紙のような解答紙に答えるという形式だったが、ハングル文字の発音しか分からなかった私は、問題の内容を理解することができず、全く書けなかった。面接も1対1の対話で「イルミモエヨ?(名前は何ですか?)」「オディエソ ワッソヨ?(どこから来ましたか?)」など簡単な質問に対してスムーズに答えられず、韓国語の勉強は本当にゼロからのスタートといった感じだった。試験翌日にクラス分けの結果が掲示され、私たちはそれぞれ指定された教科書を購入し、授業に臨んだ。クラスは少数体制で私が配属されたクラスには日本人だけでなく、台湾やサウジアラビア、オランダ人の留学生を含め12人だった。基本的に土日祝日(秋夕)を除き、平日の9時から13時までの4時間をスピーキングとリーディングを主とした授業がそれぞれ休憩を含め2時間ずつ行われた。授業はすべて韓国語で行われたため、理解が追いつかない部分もあったが、日本語で教わるよりも韓国語を覚えるスピードが速いと感じた。また、教科書に沿ってそれぞれのユニットでは日常生活における場面を想定した内容で、すぐに使えるため、覚えやすかった。クラスの先生も優しくユーモアがあり、授業を辛いと感じることなく、楽しく勉強できた。

通常の韓国語授業以外には、午後から2時間の文化特講を受講した。文化特講は4回あり、韓国の「礼儀」・「歌」・「ドラマ」・「遊び」について学んだ。韓国の礼儀では、食事の作法や目上の人への礼儀作法を教わったり、チマチョゴリ(韓国の民族衣装)を着たりした。韓国の歌では、韓国語の替え歌をつくって発表したり最近、流行しているK-POPを聴いたり歌ったりした。韓国のドラマでは人気のドラマやその撮影場所の地域について紹介された。韓国の遊びでは、4本の木の棒を投げてサイコロを進める「ユンノリ」や重りがついた紙を足首の側面で蹴って遊ぶ「チェギチャギ」や日本でいうメンコ「タッチチギ」を実際に体験した。文化特講では韓国文化を実際に体験したり、クラスの皆と交流したりしてとても楽しく、異文化理解にもつながった。

【現地学習】

研修プログラムには2回の現地学習があり、1回目は民俗村や利川陶芸村へ行き韓国の伝統文化に触れることができた。2回目は国立中央博物館やNソウルタワーへ行ったり、NANTAを

観たりした。乱打は包丁や鍋などキッチン用品で奏でるミュージカルパフォーマンスでカッコいいパフォーマンスもあればユーモアたっぷりで笑顔になれる非常に面白い演出だった。現地学習では、色々な場所に行くことができとても充実した時間だった。

【トウミ】

慶熙大学のプログラムにはトウミ(チューター)制度が実施されていて留学生 1 人か 2 人に対して韓国人の学生 1 人がパートナーになる、知り合える機会がある。トウミとは会話練習をしたり、韓国について色々教わったりすることができる。私は同じクラスの日本人もう 1 人と一緒に韓国人の学生といった組み合わせで、研修中にトウミと 2 回ほど会った。日本語で会話することはできなかったため、何とか覚えてたの韓国語やジェスチャー、英語、スマートフォンの翻訳機能を使ってトウミとやり取りしたが、トウミに会って自分の勉強不足を痛感した。

【自由時間】

土日や秋夕、文化特講のない平日の午後は時間があつたので、東大門や明洞へ買い物に行ったり、仁寺洞周辺を散歩したりした。世界遺産である昌徳宮や景福宮、光化門広場や清溪川広場、ロッテワールド、ソウルの森といった観光名所とよばれる場所へも行き満喫することができた。

【韓国研修を終えて】

3 週間の韓国での生活は私にとって非常に有意義な時間を過ごせた思い出になった。韓国へ行く前は韓国語ができなくても何とかなるだろうと甘い考えをもっていたが、言葉が通じないために知りたいことや聞きたいことがすぐに質問できなかつたり、理解できなかつたりすること、伝えたいことを思うように表現できないことがもどかしいと感じる場面が少なくなかった。その国の大切な文化の一つである「言語」に親しみをもち学んでいくことが他国の文化について学んだり理解したりする際の手助けになると強く感じた。韓国研修は濃密なプログラム内容で、チャレンジしてよかったと本当に言える 3 週間だった。

私は、9月4日から9月24日まで20泊21日で韓国に短期留学してきました。

宮古短大から留学する人もいないし、韓国語の授業もないし不安しかありませんでした。でも、行動を共にした県立大学の方々のおかげで韓国での生活を楽しむことができました。

初めての飛行機、初めての海外で本当にわくわくでした。韓国の仁川空港に着いたときからCAさんも看板も全て韓国語で韓国に着いたという実感が湧いたし、韓国語が全く話せない・読めない・書けない私は出発前よりも不安になりました。韓国に着いた夜に外食して3人とも韓国語ができなくて、携帯で調べたりわずかな知識をたどって解読したりして初日は大変でした。



↑キョンヒ大学 入校式！午後はクラス分けテストでした。

208人44か国からの留学生が集まりました。そのうちの半分が日本人で多さにおどろきました。私は韓国語が全くできないので、基礎から勉強するためベーシッククラス(一番下のクラス)に振り分けられました。韓国語の書き方や発音の仕方など日本語にはない独特な発音が多くて覚えるのにいっぱいいっぱいでした。クラスでも半分が日本人でしたがマレーシアや香港、アラビア、中国と様々な国の方々と仲良くなれたし、先生も面白くて楽しく授業ができました。

特別授業で文化特講や現地学習もあり韓国にさらに興味を持ちました。文化特講では、韓国の遊びや音楽、礼儀やドラマなどを学びました。遊びは日本よりも少しハードだったり難しかったりしたけど、何回かやっているとコツをつかめてきてすごく盛り上がりました。



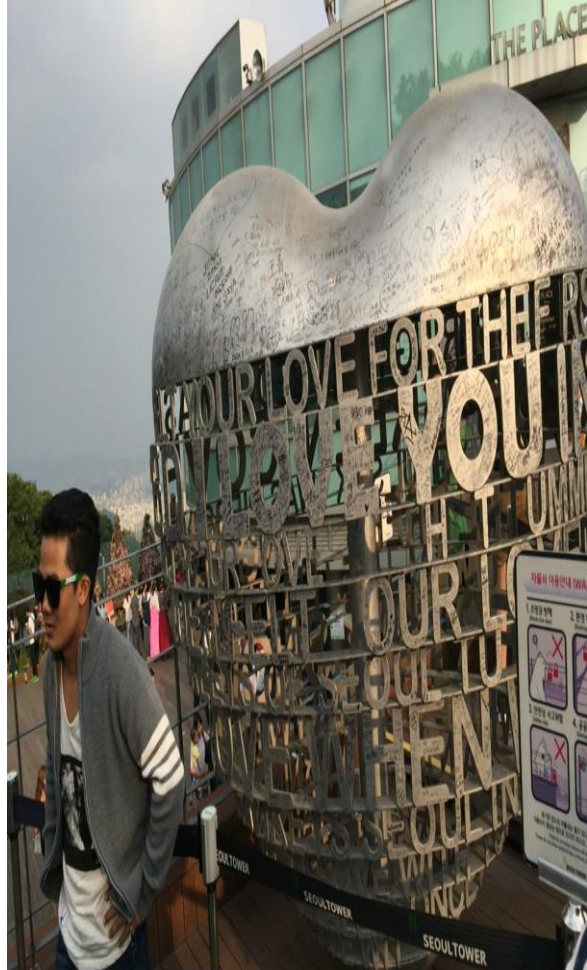
☞文化特講で同じチームメイトでした。国を超えて交流を持って楽しかったです。

現地学習では、民俗村やNソウルタワー、陶芸やナンタの観覧をして面白かったです。民俗村に行ったときは、途中で雷雨になり残念でしたがすごいパフォーマンスが見ることができたので満足です。

この日のお昼はサムギョプサル風のをいただきました。とてもおいしかったです♥



↑Nソウルタワー!!!



↑恋が叶うと噂の南京錠! ?らしい!

韓国での授業時間は9時から13時までなので、ほぼ毎日観光の時間がありました。徐々にクラスメイトと仲良くなり、買い物に行ったりショッピングしたり、クラスの子と一緒に過ごすほうが多くなりました。週末にはロッテワールドに行ってきました。週末ということもあり混んでいましたが、ハロウィン企画もあり朝から夜まで1日いっぱい遊びました。



夕方の 18 時からはハロウィン企画で暗さも程よくなりゾンビパレードのクオリティが高く、演出だとわかっているけど、足元でチェンソーを回されたときは本気で怖かったです。絶叫マシンは日本と比べ物にならなくて叫ぶ以上に声が出なかったし一瞬乗っている時の記憶がありません、、、(;´・ω・)



韓国語の授業では足りない部分や韓国語の会話練習などをしてくれるトウミと言われるお世話係が一人ひとりにつきました。私は二人に一人という形でついて予定が合わず残念ながら一回しか会えませんでした。サムギョプサル食べ放題に連れて行ってもらったので嬉しかったです。食べ放題に行く前には「ラックンカフェ」に行きました。日本で言う猫カフェみたいなところで、ラックンは「タヌキ」という意味があって「タヌキカフェ」に行きました。初めて生でタヌキを見て、思ったより可愛くてかなり癒されました。夜行性なので全然起きているタヌキがいなかったけど、徐々に起き始めていきなり喧嘩をするタヌキもいて少し怖かったです。

そんなこんなであつという間に帰国3日前になりました。この日はクラスで最後の授業となりました。全然韓国語が読めなくて書けなくて話せなくてどうなるかと思ったけど、このクラスメイトや先生と授業ができたおかげで少しだけ3週間で読んだり書いたり話したりすることができるようになりました。



そのあとに明洞に出かけたら、日本語を勉強中だという素敵なオッパー(お兄さん)にも出会いました。屋台で韓国のりを売っていたお兄さんだけどいい人過ぎて購入してしまったし、ただ話してただけなのに、商品ののりを3個もサービスしてくれました。

最終日はクラスで修了式をしました。あっという間で明日からは「また明日ね」って会話することがないんだなと思ったら悲しくなりました。このクラスで、クラスメイトで、先生で本当に良かったと心から思います。



↑無事にみんな貰えました終了証👏👏

今回この留学で韓国コースを選択して良かったと本当に思います。言葉の違いはもちろんあるし、人間性や生活の違い、宗教に違いなど、日本とは全く異なるものもありました。特にトイレはトイレットペーパーを流しちゃいけないたり日本より分別が厳しかったり大変なことのほうが最初は多かった気がします。生活にも慣れてくると地下鉄に乗って一人で出かけられるようにまでなりました。

また、韓国語とか全く出来ないのに高いお金を出して留学に行かせてくれた親にとっても感謝しています。今度は会話ができるようになりたいと思ったので、自分の趣味としてもっと韓国語を勉強していきたいと思いました。自分にとって充実した3週間でした。

※おまけ



